

授業科目	国際関係論	2単位	選択	講義	1学年 前期	担当 教員	非常勤講師 竹内 恒理							
授業の概要	① 国際関係論の講義を通じて平和を維持することが如何にむずかしいかを理解する。 ② 世界はアジアの時代にシフトしており、中国、インドなど急成長する国々の世界的影響を考察する。 ③ 中東や アジアにおける地域紛争の事例を取り上げ、その原因についての理解を深める。													
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ			
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
1. 戦後世界の国際関係がどのように変化してきたかを事例を通じて理解する。					◎									
2. グローバリゼーションの過程とその意味、影響について理解を深める。					◎	○		○						
3. 世界で発生している紛争問題やテロについて考察できる基礎力を身に付ける。					◎		○							
4. 日本が現在置かれている国際的立場をどのように考えるべきか、教養を身に付ける。					◎	○	○	○						
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照														
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習							
1	イントロダクション 国際関係論について	シラバスを読んでおく。	授業の進め方と国際関係論の意義について説明する。				国際関係とは何かについて理解する。							
2	国際関係の主体Ⅰ	国とは何かについて考えておく。	国民とはどのようにして生まれたかを理解し、国民国家はどのように成立したかを解説できる。				朝鮮半島における国家の実際について考える。							
3	国際関係の主体Ⅱ	国連がどうしても必要かについて調べておく。	国連などの国際機関などがどのような役割を持っているのかを理解する。国連などの役割を説明できるようにする。				国連があるにもかかわらず、世界に紛争が多発する原因について考える。							
4	国際社会の特徴Ⅰ	国際社会という集合体をコントロールできる主体が無いことに気づくこと。	国際社会の特徴はどのようなものかを理解する。国際社会は無秩序であることを考察させる。				国際法があるにもかかわらず世界中で紛争が絶えない現実について考える。							
5	国際社会の特徴Ⅱ	日本が近代化を進めた過程で発生した矛盾について調べておく。	西欧的国家システムはどのように成立、拡大していったかを理解する。日本も西欧的国家システムに巻き込まれていった過程を説明できるようにする。				西洋的価値観が世界に拡大した後、人類は何に気づくかについてまとめる。							
6	世界システム論	一つの国は興亡することに気づくこと。	ウォラッシュタインが唱えた世界の歴史のとらえ方を紹介する。世界システム論から見たアメリカの実態を説明できるようになる。				アメリカはすでに衰退局面にあることを理解する。							
7	核兵器の拡散	北朝鮮、イランなどの国が核兵器を保有していることを事前に調べておく。	国際関係上、核兵器の存在がどのような意味を持つかを理解する。核兵器の危険性について説明できるようにする。				核兵器の取り扱いを間違えると人類は滅亡する危険が高いことを整理しておく。							

8	朝鮮半島情勢	韓国、北朝鮮に関する新聞記事を事前に読んでおくこと。	現在の朝鮮半島情勢はどのようにして生じてきたのかを理解する。日本にとって北朝鮮がどのような脅威となるか説明できるようになる。	日本と北朝鮮は休戦状況にあることを理解し、整理する。
9	ウクライナ情勢と核戦争	秘密裡に核保有を狙う国々が出現する背景について考えること。	ロシアは核兵器を保有し、ウクライナを攻撃している危うさを理解する。ロシアは中国と連携し、新冷戦の時代に入った背景を説明できるようにする。	ロシア、中国がすでに核保有をし、西側諸国と対立している現実を理解し、その意義を考えること。
10	超大国アメリカ	衰退しているアメリカが超大国にこだわる理由を調べること。	バイデン大統領が率いるアメリカの持つ危うさについて理解する。日本と中国に与える影響について説明できる。	アメリカのバイデン大統領が出現した背景を整理すること。
11	中国	日本の将来に中国の存在が大変大きな意味を持っていることを調べておくこと。	経済成長が著しい中国の現実はどうなのかを理解する。中国の変貌ぶり与世界に与える影響力を説明できる。	アジアの時代の中心に中国が存在することを整理しておくこと。
12	中国とインド	中国とインドに着目して、関連する新聞記事を読んでおくこと。	中国とインドは今後どのような道を選択するのかを理解する。日本と中国、インドとの関係はどのような可能性があるのかを説明できるようになる。	日本にとって中国一辺倒は好ましくないことを整理、理解する。
13	人口問題と食糧危機	世界においては人口の爆発が起こっていることを予習する。	アフリカ、アジアなど世界の人口がどのような速度で増大するかを理解する。人口増大に伴って食糧危機がどのようなかたちで現れるかを説明できるようになる。	国際社会の大半を占める発展途上国では人口の急速な増加が問題となっていることを整理する。
14	国際協力	発展途上国が「離陸」するためには開発援助が必要であることを調べる。	国際協力はどのようにして必要なかを理解する。国際協力がなぜ必要なかを説明できるようになる。	発展途上国が抱える絶対貧困の解消に開発援助が必要であることをまとめておく。
15	日本を取り巻く情勢	アジアの中で日本が生き残るための戦略について予習する。	日本を取り巻く国際情勢について理解する。日本に影響を与える最近の中国、朝鮮半島、ロシア、アメリカの動きについて説明できる。	日本はアメリカと中国の関係のバランスの中で平和、繁栄を維持できるか否かを考察する。
成績評価	受講態度（30%）、 期末試験（70%） 合計 100%			
教員からのコメント	<p>① 日本は2050年までに衰退するかのむずかしい転換点に置かれております。世界はアジアの時代にシフトしております。国際関係論は未来を予測する学問でもあります。世界で起こっていることは日本でも起こります。世界に目を向けましょう。</p> <p>② 現在世界で起きている出来事を把握するため、何故そのような事態が起こるのか普段からテレビのニュースや新聞に目を通しておいください。授業では、随時、世界情勢の話題を授業で取り扱うようにします。</p> <p>③ この授業では世界の出来事や日本との関係を理解するため、歴史的観点や文化・経済・社会的観点などから、幅広く考察します。</p>			
教科書	書名 国際関係学 講義 著者 原 彬久 発行所 有斐閣	推薦図書	書名 授業中に紹介します。 著者 発行所	